Creative Enzymes®

ネイティブボバイン因子X活性化型 (Xa)

Cat. No. NATE-0250

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ファクター一Xaは、プロトロンビン内のArg-ThrおよびArg-Ile結合の加水分解を触媒し、活性トロンビンを生成します。比較的□密な認識配列はIle-Glu（またはAsp）-Gly-Arg-↓-Xです。ターゲットタンパク質の立体構造に□じて、他の塩基性残基で切断することもあります。ファクター一Xaは、認識配列のアルギニンの後にプロリン残基が続く場合、切断しません。
用途	融合タンパク質は、一般的に因子Xa切断可能なIle-Glu（またはAsp）-Gly-Arg-↓-X配列で発現されます。通常、1 mgの融合タンパク質は、37℃で2.5時間、10 µgの因子Xaとインキュベートすることができます。
別名	EC 3.4.21.6; 9002-05-5; トロンボキナーゼ; プロトロンバース; プロトロンビナーゼ; 活性化血液凝固因子X; 自己プロトロンビンC; トロンボプラスチン; 血漿トロンボプラスチン; 因子Xa; 活性化スチュアート-プロワーファクター; 活性化因子X; 凝固因子Xa

製品情報

種	牛
由来	牛血漿
形態	水性グリセロール溶液
EC番号	EC 3.4.21.6
CAS登□番号	9002-05-5
最適pH	7.6-8.0
最適温度	37°C
代謝□路	共通□路、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系; 外因性□路、特定の生物系
機能	カルシウムイオン結合; ホスファリピッド結合; セリン型エンドペプチダーゼ活性
単位定義	1単位の活性化された因子Xは、pH 8.3、37°CでN-ベンゾイル-L-イソロイシン-L-グルタミン酸-L-グリシン-L-アルギニン-p-ニトロアニリンから1.0 µmoleのp-ニトロアニリドを□分放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C